

平成28年度
事業計画書及び収支予算書

平成28年3月

社会福祉法人 大月町社会福祉協議会

平成 28 年度事業方針及び事業計画

目標

だれもがみんな、自分らしく生きるために共に支え合える地域づくり

<基本方針>

昨今、社会経済環境の変化とともに、地域社会や家庭・家族のありようが大きく変わっています。地域に暮らす人びとの関係の希薄化や高齢者世帯の増加、核家族化の進行により、これまでの福祉制度では解決が難しい社会的課題が増加しています。

このような状況のなか、本会では、地域における福祉活動の指針となる「大月町地域福祉活動計画」を軸として、誰もが皆、住み慣れた地域で安心して暮らす事のできる地域福祉の実現に向け、住民主体の地域活動を支援していくと共に、質の高い福祉サービスの提供とさまざまな課題の解決のため、行政、地域住民、関係機関及び各種団体と協働して地域福祉を推進して参ります。

<重点目標>

1. 地域福祉活動計画及び地域福祉計画に基づいて地域福祉活動の推進を図る
2. ふれあいのまちづくり事業の推進を図る
3. 介護保険法及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為の法律等の介護サービス等事業の充実を図る
4. 在宅介護者の介護負担の軽減と孤立予防の取り組みの推進を図る
5. ボランティアセンター機能の充実を図る

<事業実施計画>

1. 地域福祉の推進

(1) 地域福祉活動計画に基づいた地域福祉活動の推進

地域毎の住民座談会を開催し、住民主体の活動計画づくりを進め、共に支え合える地域づくりをする

(2) ふれあいのまちづくり事業の推進

(イ) 総合相談所の設置

(ロ) 福祉大会の開催

(ハ) ふれあい弁当配食サービス

(70歳以上の独居老人／1食200円)

(ニ) 愛の一声ふれあい郵便事業（ネットワーク活動）

(ホ) 緊急カード・ふれあい安心カードの整備及び個別配布

(ヘ) 小・中・高生及び一般参加のボランティア体験学習の開催

(ト) 各団体と協働の見守りネットワーク活動

(チ) 高齢者輪投げ大会の開催

(リ) 老人単科大学・芸能大会の開催

(ヌ) 出前ミニデイサービス「ふれあいサロン」の活動強化

(3) 福祉サービス利用支援の推進

(イ) 無料総合相談の運営強化

(ロ) 生活福祉資金貸付及び償還指導

(ハ) 日常生活自立支援事業の推進

(4) 福祉活動推進校の育成支援

町社協指定推進校

大月小学校・大月中学校（各1校）

※ 町内小・中学校児童生徒の「福祉のこころ」を育てる

- (5) 各種福祉関係機関・団体等との連絡調整及び活動育成
 - (イ) 民生児童委員協議会
 - (ロ) 老人クラブ連合会
 - (ハ) 心身障害者協議会
 - (ニ) 福祉委員協議会
 - (ホ) 民生委員 OB 会
 - (ヘ) ボランティア連絡協議会
 - (ト) シルバー介護士会
 - (チ) 大月町連合婦人会
 - (リ) ひきこもり家族の会 青い空ぽっこぷうん

- (6) あったかふれあいセンター事業「ほっとセンター」の運営

- (7) 生活困窮者自立相談支援事業の推進

- (8) なんでも屋紹介事業
「暮らしの応援団」の活用促進

- (9) 在宅介護者の負担軽減を図る
 - (イ) 認知症家族の会「いきいき家族の会」を開催
 - (ロ) 在宅介護者の生きがいつくり

- (10) 孤立予防の取り組みの推進
 - (イ) 小地域の支え合い見守りネットワークの構築

- (11) その他
 - (イ) 共同募金運動の推進
 - (ロ) 日赤社資募集の推進

2. 在宅福祉サービスの推進

(1) 介護保険及び介護予防事業の推進

- (イ) 訪問介護事業・介護予防訪問介護又は第1号訪問事業
- (ロ) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業
- (ハ) 通所介護事業・介護予防通所介護又は第1号通所事業
- (ニ) 居宅介護支援事業
- (ホ) 認知症高齢者共同生活介護事業・介護予防認知症高齢者共同生活介護事業（グループホーム）

(2) 住宅型有料老人ホームの運営

(3) 障害福祉サービス事業の推進

- (イ) 居宅介護事業
- (ロ) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業

(4) 障害者福祉の推進

- (イ) 在宅障害者野外出前ふれあいサロン「七転び八起の会」
- (ロ) 障害者協議会育成支援
- (ハ) 福祉車両の貸出

3. ボランティアセンター機能の充実

(1) 災害時ボランティアセンター機能の充実

(2) ボランティアの育成

<組織経営管理体制の整備>

1. 会務の運営

(1) 理事会・評議員会の運営

2. 経営管理体制の構築

(1) 事業評価の実施

3. 財務管理と運営
 - (1) 自主財源の確保と有効活用
 - (2) 適正な財務管理

4. 組織基盤の整理
 - (1) 職員の人事管理・労務管理の適正化
 - (2) 人材育成・研修の充実

5. 指定管理業務の受託
 - (1) 指定管理施設の適正な管理運営

6. 情報発信
 - (1) 広報活動の充実
 - (2) 感想文集等の発行
 - (3) ホームページ

7. 福祉人材養成支援
 - (1) 各種実習の受け入れ及び協力

<その他>

1. ショートステイ事業（特老）へ協力

2. 地域包括支援センター・大月病院との連携

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

大月町指定訪問介護事業所（含介護予防事業・第1号訪問事業）

平成28年度 事業計画

基本方針(目標)

利用者の尊厳を保ち、知識・技術・笑顔・やる気！！で
一人ひとりの能力に合わせた生活が送れるよう支援する。

当訪問介護事業所は介護サービス計画書により、要介護状態となった利用者が可能な限り住み慣れた自宅において、その個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供し、且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

また、予防訪問介護事業では、利用者の要支援状態の維持、改善を図り、要介護状態となることを予防する事を基本に、利用者の生活、人生を尊重しできる限り自立した生活を送れるよう支援します。

1. 秘密の保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上知り得た利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

訪問介護サービスの内容は、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して身体介護及び日常生活上の支援を行うものとします。

営業日：年中無休

営業時間：午前8時～午後6時

※ 介護支援専門員の作成する居宅介護サービス計画により、営業時間外においてもサービスを提供させていただきます。

※ 携帯電話にて、24時間常時連絡が可能な体制としています。

3. 職員の職種、配置数

管理者：1名

サービス提供責任者：4名

パート訪問介護職員：25名

4. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

平成28年度ヘルパー研修計画

月	研修テーマ	研修目的	講師
4月	職業倫理と法令遵守	職業倫理と法令遵守についての理解を深める。	要請
5月	マイナンバー（個人番号）制度の理解	マイナンバー（個人番号）制度について理解する。	事務局 松岡
6月	食中毒について	食中毒の知識の習得。また対応方法を確認する。	大月町保健師
7月	調理実習	高齢者が食べやすい食事作りのポイントと工夫を学ぶ。	提供責任者
8月	障害者の理解と求められる支援	障害を正しく理解し、その人にあった関わりを理解する。	提供責任者
9月	救急法	家庭や訪問先での緊急時の対応があわてず行える。	大月分署 救急救命士
10月	介護技術研修	正しい姿勢での移乗・移動や福祉用具の使い方など介護技術を高める。	提供責任者
11月	福祉大会講演	老人大学・福祉大会の講演を聞く。	要請
12月	ヘルパー交流会	ヘルパー間でのコミュニケーションを図り、意見を出し合う。	提供責任者
1月	感染症について	インフルエンザやノロウイルス等感染症について理解する。	大月町保健師
2月	認知症について	認知症の知識とそのケアを正しく理解する。	要請
3月	介護保険について	介護保険の仕組みについて理解する。	社協ケアマネ

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

大月町基準該当訪問入浴介護事業所(含介護予防事業)

平成 28 年度 事業計画

基本方針(目標)

ゆったりと入浴でき、清潔な身体で過ごすことができる。

訪問入浴介護の事業は、要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の援助を行う事によって、利用者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るものとする。且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

予防訪問入浴介護事業では、利用者の要支援状態の維持・改善を図り、要介護状態になることを予防する事を基本に、利用者の生活・人生を尊重し、できる限り自立した生活を送れるよう支援します。

1. 秘密保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上

知り得た利用者及び契約者・その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

利用者の居宅に看護師 1 名、介護職員 2 名が浴槽を持参し、寝たままの状態の入浴をしていただきます。ケアマネジャーが提示するケアプランに基づき作成された介護計画書に基づき、看護師・ヘルパー 2 名が決められた日時に訪問し、入浴前体調確認(血圧・脈拍・体温等)を行い、入浴(洗髪含む)を実施します。また、入浴後の体調確認及び経過観察を行ないます。

3. 営業日と営業時間

- ・ 営業日は年中無休とします。ただし、12月31日～1月3日までを除くこととしますが、需要がある場合はこの限りではありません。
- ・ 営業時間は 8:00～18:00 までとしますが、特別の需要がある場合はこの限りではありません。尚、携帯電話にて 24 時間電話受付をいたします。

平成 28 年度 事業計画

基本方針(目標)

利用者の尊厳を保ち、知識・技術・笑顔・やる気！！で
一人ひとりの能力に合わせた生活が送れるよう支援する。

当居宅介護事業所は介護サービス計画書により、利用者が可能な限り住み慣れた自宅において、その個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を提供し、且つ行政や他関係機関と密接な連携を図り、地域の福祉向上に貢献します。

1. 秘密の保持について

当事業所は、訪問介護員及びその他の従業者に対して、正当な理由がなくその業務上知り得た利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないように、雇用契約において義務付けています。

2. サービス内容

居宅介護サービスの内容は、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して身体介護及び日常生活上の支援を行うものとします。

営業日：年中無休

サービス提供時間：午前 8 時～午後 6 時

※ 大月町保険介護課保健師の作成する居宅介護サービス計画により、サービス提供時間外においてもサービスを提供させていただきます。

※ 携帯電話にて、24 時間常時連絡が可能な体制としています。

3. 職員の職種、配置数

管理者：1 名

サービス提供責任者：4 名

パート訪問介護職員：25 名

4. 職員の研修

毎月 1 回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

平成 28 年度 事業計画

運営方針

利用者が要介護状態にあっても可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活が営むことができるよう配慮し、利用者の選択に基づき、適正な保健・医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、公平中立な居宅介護支援を行う。

事業目標

利用者やその家族にとって話しやすく相談しやすいケアマネージャーになる。

- ① アセスメントシートを活用して、本人の意向、大切にしていること、ライフスタイルを聞き取りその人らしい生き方を把握する。
- ② 医療機関との連携を良好に保てるように状況に合わせて対処する。
- ③ 新しい制度の知識を身につけたり、各地域の活動にも興味をもち、多様なサービスの情報を提供できるようにする。
- ④ 防災の知識を身につけ、状況に合わせた防災対策（家具の固定・避難所の確認など）についてアドバイスできるようになる。



平成28年度研修計画（大月町指定居宅介護支援事業所）

月日（第2木曜）	研 修 内 容	備 考
平成28年4月14日（木）	職業倫理・法令遵守について	
平成28年5月12日（木）	施設訪問視察（ほほえみ・テイサー・ヒスくすのき）	
平成28年6月9日（木）	感染症予防（食中毒について）	
平成28年7月14日（木）	事故対応・防災について	
平成28年8月12日（金）	プライバシー保護について	
平成28年9月8日（木）	救急法の確認及び実践	
平成28年10月13日（木）	ケアプランチェック・自己評価	
平成28年11月10日（木）	難病・身障施策について（介護保険制度との関係）	
平成28年12月8日（木）	高齢者虐待防止・身体拘束防止について	
平成29年1月12日（木）	相談苦情対応の研修	地域ケア会議事例検討
平成29年2月9日（水）	認知症について	
平成29年3月9日（木）	次年度の事業・研修計画 ケアプランチェック・自己評価	

平成 28 年度 事業計画

基本方針(目標)

障害者や障害児又はその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及びサービス利用などの相談・支援をさせていただきます。

1. 事業内容

相談者の地域の生活を支えるためのその人の生活全体を見通し、継続的な支援を実施していくことを援助方針とします。

- ・相談支援
- ・情報提供
- ・関係機関との連絡調整
- ・サービス利用計画作成の作成

2. 職員の職種、配置数

管理者：1名

相談支援専門員：1名

3. 職員の研修

毎月1回事業所内のステップアップ研修(下記)以外にも、公の機関が開催する研修への積極的参加及び、研修内容の伝達共有を行います。

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

大月町指定通所介護事業所（さんご）

平成28年度事業計画

(平成28年度) 重点目標

機能が維持でき意欲、楽しみを持てる

レクリエーションや機能訓練など「さんご」での一日の取り組みの中で、利用者一人一人、笑って過ごして頂き「安心して過ごし笑顔で過ごせた」と感じて帰って頂きたい・・・

機能が維持でき、意欲、楽しみを持てる取組

平成28年度年間計画書		
	防災訓練 (10月・3月) 非常時災害訓練 (4月、8月、12月)	
	ぬり絵カレンダー作成	
	お誕生日写真 プレゼント	
	かご作り お誕生日カード作り	
	封筒作り	
	シルバーボランティア (月1回) 入浴介助 (着脱、誘導)	
	作品を文化てんへ出品する (桜)	
	折鶴を広島に送る	
平成28年度毎月計画書		
4月	フェルトのクローバー作り	
5月	おやつ作り (しばもち)	
6月	障地取りゲームづくり	
7月	ブローチ作り	
8月		
9月	敬老会	ボランティア訪問
10月	運動会	
11月	ポインセチアのリース	
12月	正月飾りづくり他 つるし柿づくり	
1月	お雛様作成 干大根づくり	
2月	食材作り (旬のものを作る)	山菜その他
3月		
その他	興味のあるものに挑戦して頂く、	

(営業時間)

平日の 午前 9時30分 ~ 午後 3時30分まで

※日曜日・年末年始(12月30日から1月3日)は休業となります。

(利用定員)

20名(通所介護と介護予防通所介護, 第一号通所介護を含めた人数)

(サービス内容)

～通所介護～

利用者の居宅(自宅)から施設へ、当施設の送迎車両にて送迎を実施し、施設内にて養護、健康チェック、食事、入浴、レクリエーション、機能訓練等により、利用者の健康状態の確認や生きがいの増進、家族の方の介護負担の軽減を図るサービスです。

～介護予防通所介護、第一号通所介護～

①共通的服务

利用者が自立した生活を送っていただけるよう、居宅(自宅)から施設へ、当施設の送迎車両にて送迎を実施し、施設内にて養護、健康チェック、食事、入浴等の介助をさせていただき、利用者の健康状態の確認や生きがいの増進を図るサービスです。

②集団的なレクリエーション、創作活動等による機能訓練を実施します。

(一日の流れ)

	通所介護	予防通所介護, 第1号通所介護
	送迎(迎え)	
9:30	健康チェック(血圧測定、検温、体重測定)	
	軽体操・ウェイトトレーニング	
	レクリエーション	入浴
	入浴	レクリエーション
12:00	昼食	
13:00	集団レク	機能訓練
14:00	機能訓練	集団レク
	おやつ・休憩	
	談話・カラオケ	
15:30	送迎(送り)	

平成28年度 (通所介護、予防通所介護、第一号通所介護) 事業計画書

デイサービス「さんご」

(運営方針)

利用者の意志および人格を尊重し、常に利用者及び家族の立場に立った援助の基本姿勢を忘れる事なく、コミュニケーションを密にし、利用者の個別のニーズを見逃さず対応できるなど、家族の方の介護負担の軽減や利用者の生活の質の向上に努力します。

- ①利用回数については、居宅支援事業所が作成したケアプランに基づいた利用回数を原則とします。
- ②他のサービス提供事業所と連絡を密にし、利用者個々のニーズに応じた対応を行います。
- ③苦情に関する窓口を設置し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応を行います。
- ④利用者及び家族の了解を得て、主治医の方に意見をお尋ねすることがあります。
- ⑤職員は積極的に施設内外の研修に参加し、資質の向上に努めます。

(事業所の職員体制)

※平成28年4月現在

職 種	人数	備 考
管理者	1	生活相談員兼務
生活相談員	1	管理者兼務
看護職員	1	機能訓練指導員との兼務
介護職員	5	(1名)生活相談員との兼務
機能訓練指導員	1	看護職員との兼務
調理員	1	介護職員との兼務
看護師 (パート)	3	機能訓練指導員との兼務
介護員 (パート)	2	介護員
調理員 (パート)	1	介護職員との兼務
その他 (パート)	1	調理補助

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

認知症対応型共同生活介護（含介護予防事業）

グループホーム月のなごみ

平成 28 年度 事業計画

1. 運営方針

グループホーム月のなごみでは、入居者“お一人おひとりが、これまでと変わらぬように”“自分らしく暮らせる環境づくり”をめざします。

家庭的な温かく笑顔の耐えない雰囲気づくり
お一人おひとりを大切に思うところ
同じ目線で対話し、ご本人の意向や思いをとらえる
職員に対しご本人やご家族が話かけやすい雰囲気づくり

秘密の保持について

当ホームは、職員及び関係者が、正当な理由がなくその業務上知り得た、利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らす事がないよう、雇用契約において義務付けています。

2. 目標

職員間の連携を強化し、入居者の皆様が穏やかに過ごす事が出来る様に丁寧で迅速な対応をする。

ご本人もご家族も安心して暮らせるホームづくり目指します。

配置職員数：管理者 1名

計画作成者（非常勤）1名

介護職員 9名（内パート職 3員名）

介護補助職員（パート職）1名

平成 28 年度 施設内研修計画 (月のなごみ)

経営・運営方針

1. 家庭的な温かい雰囲気の中でその人らしい生活が送れるよう努める。
1. 個人の尊重や個性を大切にしている機能を引き出しながら、尊厳のある生活を送っていただけるようつとめる。
1. 心のケアに気を配り安心充実した生活が送れるよう努める。
1. ご家族や地域の方たちとの交流を密にして信頼されるグループホームであるよう努める。

月	日	種 別	研 修 内 容	場 所	講 師
4月	日	全体研修	感染症及び食中毒発生の予防及びまん延防止について	月のなごみ	施設内職員 (濱崎)
5	日	全体研修	介護従事者に接遇について	月のなごみ	施設内職員 (芝岡)
6	日	全体研修	認知症及び認知症ケアについて 認知症個別対応について	月のなごみ	施設内職員 (安田)
7	日	全体研修	権利擁護事業・成年後見制度について	月のなごみ	施設内職員 (谷岡)
8	日	全体研修	緊急時の対応、事故防止について	月のなごみ	施設内職員 (森木)
9	日	全体研修	プライバシー保護・高齢者虐待防止・身体拘束廃止の推進	月のなごみ	施設内職員 (濱野)
10	日	全体研修	新型インフルエンザについて 外部評価について	月のなごみ	施設内職員 (森下)
11	日	全体研修	倫理、法令順守について	月のなごみ	施設内職員 (濱崎)
12	日	全体研修	嚥下障害と食事の基礎知識	月のなごみ	施設内職員 (芝岡)
1	日	全体研修	相談・苦情等について	月のなごみ	施設内職員 (安田)
2	日	全体研修	防災・非常災害時の対応について	月のなごみ	施設内職員 (谷岡)
3	日	全体研修	来年度の研修計画について (新人、現任研修含む)	月のなごみ	施設内職員 (森下)

平成25年度 現任・新人研修参加（月のなごみ）

経営・運営方針

1. 家庭的な温かい雰囲気の中でその人らしい生活が送れるよう努める。
1. 個人の尊重や個性を大切にしながら、尊厳のある生活を送っていただけるようつとめる。
1. 心のケアに気を配り安心充実した生活が送れるよう努める。
1. ご家族や地域の方たちとの交流を密にして信頼されるグループホームであるよう努める。

月	日	種別 (参加職員)	研修内容	場所	講師
4	17日	ヘルパー研修 (濱崎)	・「事業所における接遇について」	大月町改善センター	えびす「愛ハピネス」 次長：原利喜氏
5	15日	ヘルパー研修 (浅井里)	・「介護技術について」	大月町改善センター	有限会社あーとねっと： 宮坂千穂氏
6	11日	現任研修（浅井）	・「他施設へちぎり絵講師助手として」	えびす	ちぎり絵講師：篠田氏
	22日	現任研修（本田）	・「認知症の症状と診断、最新の治療法について」	大方あかつき館	渡川病院：吉本院院長
	27日	現任研修（浅井）	・「感染症(インフルエンザ、ノロウイルス等)や食中毒の知識の習得。又は対応方法を確認する。」	ほっとセンター	包括：押川氏
7	11日	現任研修（本田）	・「ダニについて」	大月病院	藤原健史Dr
	19日	現任研修（本田）	・「認知症の知識と認知症のケアを正しく理解する」	改善センター	いずみの病院：楠木司Dr
8					
9	17日	現任研修（森）	・大月町地域包括支援センター主催「腰痛予防教室」	改善センター	大月病院：橋元院長
10	22～ 26日	認知症介護実践研修（森）	・「実践者研修」	高知県立福祉交流プラザ	県社協研修スーパーハイパー：高橋氏他
	22日	現任研修（本田）	・「AED講習会」	デイサービスさんご	大月分署消防士
	24日	現任研修（濱野）	・「救急、防災時における介護職員の対応について」	ほっとセンター	
11	1日～	現任研修（本田）	・「大月町民の医療や生活を守る為に地域全体での他職種協働を目指すには」	大月病院	高知大学医学部：藤田晶子先生 国元豊美氏
	12日	福祉大会講演 (濱崎)	・「元気であるには体力づくりから」	大月町農村環境改善センター	
12	11日	認知症介護実践者研修（森）	・「実習課題について」	高知県立福祉交流プラザ	県社協スーパーハイパー： 高橋氏
1	23日	ヘルパー研修 (久司)	・「ノロウイルス対策」	大月病院3階会議室	オーヤラックス：K, K 所長 西谷さん
2	25日	社協全員研修 (本田、濱崎)	・「社協活動の今後の方向性と理事・評議員の役割。」	大月町改善センター	県社協：三橋氏
3	6日	現任研修（久司）	・「認知症の理解」	改善センター	渡川病院：吉本院院長

（講師との日程調整により、変更が生じる可能性あり）

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

認知症対応型共同生活介護（含介護予防事業）

グループホームのんびり館

平成 28 年度事業計画



1. 運営方針

グループホームのんびり館では、入居者が
自分の力を活かして楽しく暮らせる「ずっと住みたい家」を目指します。

- 家庭的な温かい雰囲気づくり
- 個人を大切にし、穏やかに過ごせることで認知症進行を予防
- その人の能力に合った自立支援
- ご本人やご家族、地域の皆が安心して暮らせるホームづくり

2. 目標

- ご本人やご家族、地域の方達が、集いやすい場所、楽しく過ごしていただける場所になるよう努力します。
- ご本人やご家族に満足していただけるよう職員一人ひとりが、目標を持ちそれを達成できるよう努力します。
- 入居者や来訪者の方々に笑顔で挨拶「おもてなしの心」。

職員配置数：管理者 1 名・計画担当者 1 名・介護職員 10 名（うちパート 3 名）



平成28年度 行事計画

(グループホーム のんびり館)

月	行事内容	備考
4月	花見（さくら）	
5月	ふれあい花見（つつじ）	
6月	花見（あじさい）	
7月	七夕飾り	
8月	納涼祭（有料と合同）	
9月	運動会（有料と合同）	
10月	秋祭り・コスモス見学	
11月	ショッピング	
12月	福祉大会・クリスマス会・忘年会（民謡クラブ）	
1月	初詣	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

平成28年度 研修計画

(グループホーム のんびり館)

月	研 修 内 容	委員会研修
4 月	認知症及び認知症ケアについて	感染症対策
5 月	救急時の対応について	事故対策 火災訓練 (消防)
6 月	感染症及び食中毒の発生予防について	感染症対策 レクリエーション (納涼祭)
7 月	災害対策について	災害について事故対策
8 月	日常生活自立支援事業・成年後見制度について	
9 月	外部評価について・インフルエンザについて	レクリエーション(運動会) 防災訓練 (地区住民参加)
10 月	プライバシー保護、高齢者虐待、身体拘束廃止について	感染症対策 事故対策
11 月	倫理・法令遵守について	防災訓練
12 月	介護従事者の接遇について	レクリエーション (忘年会・クリスマス)
1 月	嚥下障害と食事の基礎知識	事故対策
2 月	緊急時の対応・事故防止について	防災訓練
3 月	新年度の研修計画について (新人、現任研修含む)	各委員の交代と引継ぎ



有料老人ホーム高原の郷

平成 28 年度 事業計画

入居者様に 3 つの課題が実現されるように全職員が協力し合い、誰もが満足を得られるような施設になるように努める。

3 つの課題の実現

《毎日の生活がおだやかこと》

《一日一日を健康で過ごせること》

《食事に満足が得られること》

お一人おひとりを大切に思うことを目指します。

同じ目線で対話し、物をとらえることを目指します。

ご本人もご家族も周りの皆が安心して暮らせるホームづくりを目指します。

《秘密の保持について》

当ホームは、職員及び関係者が、正当な理由がなくその業務上知り得た、利用者及び契約者、その家族等の秘密を漏らすことがないよう、雇用契約において義務付けています。

1. 目標

温かく親しみがあり、かつ節度のある接遇マナーを基本に、職位に求められる基本的能力の底上げに努めます。

丁寧で迅速な対応をするための業務手順や職員間の連携の強化に努めます。又適宜の見直しを行います。

居室数：9 室

配置職員数：施設長《管理者》 1 名（介護職員兼務）

介護職員 9 名（内パート職員 5 名）

栄養士 1 名

ほっとセンター 28年度事業計画

<目 標>

- 生きがいを見出だす、ふれあいの場
- 世代を越えて絆づくり
- 地域住民のニーズに応える



<<取り組み>>

- ・各地区の区長や民生委員との連携を継続し、毎月の予定表を各地区に配布、区役場や集会所などに掲示し、全住民にほっとセンター事業を知ってもらう。
- ・新設した調理室を住民に積極的に活用してもらうことにより、食を通じた交わりを通して介護予防につなげる。

<<事業内容>>

集い

赤ちゃんから高齢者、障害者を対象にしたサロン(週6回)

預かる

高齢者・障害者・児童生徒を対象に緊急時のニーズに対応(随時)

働く

障害者を対象に、就労支援も兼ねた農作業等(月1回)

送る

センター利用者の送迎(随時)

交わる

他施設や団体、利用者以外の地域住民との交流

学ぶ

利用者やボランティアを対象にしたミニ講座・研修会

訪問

独居高齢者や障害者の見守りや相談活動のために訪問する(随時)
(服薬確認や買物、ゴミ出し、安否確認など)

相談

要援護者やその家族、住民からの福祉サービスに関する事や
日常生活での困りごとや気にかかる事などの相談に応じる(随時)

つなぎ

相談・訪問活動によって発見されたニーズや課題を市町村や
包括支援センター、専門機関につなぎ、連携して必要な支援に取り組む(随時)

生活支援

生活課題やニーズに応じた生活支援サービスの仕組みづくりや
コーディネート、サービスの提供、地域での支え合いの仕組みづくり(随時)

移動手段の確保

通院支援: 公共交通機関が無い地区を対象(随時)

その他

まんぷくバイキング(毎月第3水曜日 ただし、7・8・9月は休み)
(独居、食生活が充分でない方を主な対象とする)
ほっと元気学校(週2回)
(健康体操・頭の体操・レクリエーションなど実施)

平成28年度 事業計画表

H28.4 ~ H29.3

ほっとセンター 電話番号(73-1173)

4月	
・第一きんカレーの日 4/3	・輪投げ交流会 4/13
・菊づくり教室 4/16	・絵てがみ教室 4/12
・調理室おひろめ会 4/20	・ほっと運営委員会

5月	
・第一きんカレーの日 5/6	・輪投げ交流会 5/11
・バイキング 5/18	・クラフトかご作り教室 5/28
・こどもの日イベント 5/14	・菊づくり教室 5/28

6月	
・菖蒲ツアー 6/1	・第一きんカレーの日 6/3
・バイキング 6/15	・イモ植え付け(障がい者・園児合同)
・ちぎり絵教室	・絵てがみ教室
・障害者外出支援(事務局共催)	・輪投げ交流会

7月	
・第一きんカレーの日 7/1	・クラフトかご作り教室
・七夕カラオケ交流会	・菊づくり教室
・輪投げ交流会	・ほっと運営委員会

8月	
・第一きんカレーの日 8/5	・菊づくり教室
・工作作り	・輪投げ交流会
・みんなで遊ぼう	・絵てがみ教室
・消防訓練	・大月中吹奏楽部ふれあいコンサート
・ボランティア体験学習(事務局共催)	

9月	
・第一きんカレーの日 9/2	
・敬老おたのしみ交流会	
・輪投げ交流会	

10月	
・第一きんカレーの日 10/7	・絵てがみ教室
・バイキング 10/19	・クラフトかご作り教室
・菊まつり	・ほっと運営委員会
・菊づくり教室(振り返りの会)	・子育てサロン(民児協・事務局共催)

11月	
・第一きんカレーの日 11/4	・芋ほり(障がい者・園児合同)
・バイキング 11/16	・収穫祭(障がい者)
・紅葉ツアー(2回)	・コンニャク作り
・健康運動交流会	

12月	
・第一きんカレーの日 12/2	・干支作り or 正月飾り作り
・バイキング 12/21	・絵てがみ教室
・おもちつき	・健康運動交流会

1月	
・第一きんカレーの日 1/6	・ほっと運営委員会
・バイキング 1/18	・健康運動交流会
・新春カラオケ交流会	

2月	
・第一きんカレーの日 2/3	・絵てがみ教室
・バイキング 2/15	・梅 or 椿祭りツアー
・梅 or 椿祭りツアー	・健康運動交流会

3月	
・第一きんカレーの日 3/3	・桃の節句・レク大会
・バイキング 3/15	・消防訓練
・花見(桜)	

平成28年度 資金収支予算内訳表(1010:法人拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳				備考
				法人運営事業 サービス区分	共同募金事業 サービス区分	受託事業 サービス区分	介護保険事業 サービス区分	
大 嘱託職員賃金支出	33,536	38,890	5,354	0	0	4,580	34,310	
小 パート等職員賃金支出	25,528	34,772	9,244	0	0	0	34,772	
臨時職員賃金支出	44,019	40,203	▲ 3,816	968	0	4,676	34,559	
非常勤職員給与支出	590	588	▲ 2	8	0	580	0	
その他の賃金支出	5,609	2,833	▲ 2,776	28	0	0	2,805	
法定福利費支出	20,003	21,142	1,139	3,036	0	2,788	15,318	
事業費支出	35,948	34,096	▲ 1,852	1,124	1,039	6,341	25,592	
諸謝金支出	349	344	▲ 5	246	0	86	12	
弁護士謝金支出	180	210	30	210	0	0	0	
講師謝礼金支出	163	128	▲ 35	30	0	86	12	
諸謝金費支出	6	6	0	6	0	0	0	
旅費交通費支出	763	561	▲ 202	168	0	89	304	
役職員旅費支出	658	437	▲ 221	168	0	37	232	
委員等旅費支出	105	124	19	0	0	52	72	
消耗品費	3,133	2,104	▲ 1,029	48	0	467	1,589	
消耗器具備品費支出	750	798	48	0	0	0	798	
印刷製本費支出	1,186	1,222	36	0	0	300	922	
水道光熱費支出	4,320	5,600	1,280	0	0	800	4,800	
車輻費支出	1,803	2,260	457	0	0	400	1,860	
燃料費支出	2,700	2,591	▲ 109	7	0	420	2,164	
燃料費支出	69	52	▲ 17	0	0	0	52	
車輻燃料費支出	2,631	2,539	▲ 92	7	0	420	2,112	
修繕費支出	2,247	2,339	92	0	0	259	2,080	
通信運搬費支出	2,199	2,022	▲ 177	197	0	241	1,584	
委託費支出	322	322	0	0	0	0	322	
保守料支出	404	377	▲ 27	0	0	0	377	
手数料支出	618	406	▲ 212	0	0	0	406	
保険料支出	1,291	1,358	67	0	0	176	1,182	
賃借料支出	875	1,161	286	370	0	368	423	
給食費支出	8,520	8,034	▲ 486	0	0	1,950	6,084	
保健衛生費支出	348	242	▲ 106	0	0	0	242	
租税公課支出	1,642	820	▲ 822	0	0	785	35	
研修研究費支出	982	15	▲ 967	0	0	0	15	
地域福祉等対策費支出	1,030	1,039	9	0	1,039	0	0	
雑支出	466	481	15	88	0	0	393	
事務費支出	4,854	6,415	1,561	2,693	0	2,232	1,490	
福利厚生費支出	1,077	1,505	428	247	0	30	1,228	
旅費交通費支出	354	647	293	583	0	64	0	
事務消耗品費支出	381	440	59	25	0	415	0	
器具什器費支出	256	0	▲ 256	0	0	0	0	
印刷製本費支出	317	538	221	210	0	328	0	
燃料費支出	170	290	120	50	0	240	0	
通信運搬費支出	155	472	317	118	0	354	0	
広報費支出	102	200	98	200	0	0	0	
手数料支出	200	185	▲ 15	122	0	63	0	
民生委員実費弁償費支出	66	63	▲ 3	0	0	63	0	
手数料支出	134	122	▲ 12	122	0	0	0	
保険料支出	116	120	4	90	0	30	0	
賃借料支出	522	520	▲ 2	208	0	312	0	
租税公課支出	326	239	▲ 87	0	0	239	0	
渉外費支出	82	102	20	30	0	0	72	
諸会費支出	394	328	▲ 66	138	0	0	190	
保守料支出	159	172	13	172	0	0	0	
食糧費支出	0	30	30	30	0	0	0	
車輻費支出	113	497	384	340	0	157	0	
諸謝金費支出	54	54	0	54	0	0	0	
雑支出	76	76	0	76	0	0	0	
助成金支出	374	440	66	200	0	240	0	
助成金支出	374	440	66	200	0	240	0	
福祉推進校助成金支出	200	200	0	200	0	0	0	
助成金支出	174	240	66	0	0	240	0	
事業活動支出計(2)	216,089	228,535	12,446	28,687	1,039	29,754	169,055	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	32,184	▲ 5,364	▲ 37,548	▲ 15,141	0	1,079	8,698	

平成28年度 資金収支予算内訳表(1010:法人拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減額	内訳				備考
				法人運営事業 サービス区分	共同募金事業 サービス区分	受託事業 サービス区分	介護保険事業 サービス区分	
施設整備等による収支								
大: 施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	
中: 固定資産取得支出	5,406	0	▲ 5,406	0	0	0	0	
小: 車輛運搬具取得支出	5,000	0	▲ 5,000	0	0	0	0	
器具及び備品取得支出	258	0	▲ 258	0	0	0	0	
ソフトウェア取得支出	148	0	▲ 148	0	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	5,406	0	▲ 5,406	0	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 5,406	0	5,406	0	0	0	0	
その他の活動による収支								
大: サービス区分間繰入金収入	14,062	16,856	2,794	16,786	0	0	70	
中: 法人運営事業サービス区分間繰入金収入	70	70	0	0	0	0	70	
小: 受託事業サービス区分間繰入金収入	82	0	▲ 82	0	0	0	0	
介護保険事業サービス区分間繰入金収入	13,910	16,786	2,876	16,786	0	0	0	
その他の活動収入計(7)	14,062	16,856	2,794	16,786	0	0	70	
積立資産支出	8,791	3,641	▲ 5,150	444	0	516	2,681	
退職給付引当資産支出	3,129	3,609	480	443	0	516	2,650	
人件費積立資産支出	20	20	0	0	0	0	20	
福祉基金積立資産支出	1	1	0	1	0	0	0	
経営安定化積立資産支出	5,641	11	▲ 5,630	0	0	0	11	
事業区分間繰入金支出	16,301	14,365	▲ 1,936	0	0	0	14,365	
公益事業区分間繰入金支出	16,301	14,365	▲ 1,936	0	0	0	14,365	
サービス区分間繰入金支出	14,062	16,856	2,794	70	0	0	16,786	
法人運営事業サービス区分間繰入金支出	12,333	16,786	4,453	0	0	0	16,786	
受託事業サービス区分間繰入金支出	1,577	0	▲ 1,577	0	0	0	0	
介護保険事業サービス区分間繰入金支出	152	70	▲ 82	70	0	0	0	
その他の活動による支出	2,800	3,103	303	1,081	0	563	1,459	
退職手当積立基金預け金支出	2,800	3,103	303	1,081	0	563	1,459	
その他の活動支出計(8)	41,954	37,965	▲ 3,989	1,595	0	1,079	35,291	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲ 27,892	▲ 21,109	6,783	15,191	0	▲ 1,079	▲ 35,221	
予備費支出(10)	8,317	50	▲ 8,267	50	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	▲ 9,431	▲ 26,523	▲ 17,092	0	0	0	▲ 26,523	
前期末支払資金残高(12)	74,115	71,953	▲ 2,162	0	0	0	71,953	
当期末支払資金残高(11)+(12)	64,684	45,430	▲ 19,254	0	0	0	45,430	

平成28年度 資金収支予算内訳表(2100:公益拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目		前年度 予算額	当初 予算額	増 減 額	内 訳		備考
					大	中	
事業活動による収支	収入						
	老人福祉事業収入	6,726	6,726	0		6,726	
	その他の事業収入	6,726	6,726	0		6,726	
	管理費収入	3,316	3,316	0		3,316	
	その他の利用料収入	3,410	3,410	0		3,410	
	雑収入	168	180	12		180	
	雑収入	168	180	12		180	
	受取利息配当金収入	1	1	0		1	
	受取利息配当金収入	1	1	0		1	
	事業活動収入計(1)	6,895	6,907	12		6,907	
	支出						
	人件費支出	18,820	16,011	▲ 2,809		16,011	
	非常勤職員給与支出	16,439	13,943	▲ 2,496		13,943	
	嘱託職員賃金支出	8,083	5,793	▲ 2,290		5,793	
	パート等職員賃金支出	3,716	3,646	▲ 70		3,646	
	臨時職員賃金支出	4,640	4,504	▲ 136		4,504	
	その他の賃金支出	308	445	137		445	
	法定福利費支出	2,073	1,623	▲ 450		1,623	
	事業費支出	4,891	4,732	▲ 159		4,732	
	旅費交通費支出	7	11	4		11	
	役職員旅費支出	7	11	4		11	
	消耗品費	336	306	▲ 30		306	
	消耗器具備品費支出	246	142	▲ 104		142	
	水道光熱費支出	1,056	1,536	480		1,536	
	車輛費支出	140	50	▲ 90		50	
	燃料費支出	78	54	▲ 24		54	
	燃料費支出	27	10	▲ 17		10	
	車輛燃料費支出	51	44	▲ 7		44	
修繕費支出	500	200	▲ 300		200		
通信運搬費支出	138	92	▲ 46		92		
委託費支出	73	73	0		73		
手数料支出	69	59	▲ 10		59		
保険料支出	54	52	▲ 2		52		
賃借料支出	6	5	▲ 1		5		
給食費支出	2,040	2,100	60		2,100		
保健衛生費支出	36	36	0		36		
研修研究費支出	96	0	▲ 96		0		
雑支出	16	16	0		16		
事務費支出	110	169	59		169		
福利厚生費支出	70	129	59		129		
渉外費支出	30	30	0		30		
諸会費支出	10	10	0		10		
事業活動支出計(2)	23,821	20,912	▲ 2,909		20,912		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	▲ 16,926	▲ 14,005	2,921		▲ 14,005		
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等収入計(4)	0	0	0		0	
	支出						
	施設整備等支出計(5)	0	0	0		0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		0		

平成28年度 資金収支予算内訳表(2100:公益拠点区分)

社会福祉法人大月町社会福祉協議会

当初予算

(単位:千円)

勘定科目		前年度 予算額	当初 予算額	増 減 額	内 訳	備 考
					有料老人ホーム 高原の郷サー ビス区分	
	大 中 小					
その 他 の 活 動 に よ る 収 支	収 入					
	事業区分間繰入金収入	16,301	14,365	▲ 1,936	14,365	
	社会福祉事業事業区分間繰入金収入	16,301	14,365	▲ 1,936	14,365	
	その他の活動収入計(7)	16,301	14,365	▲ 1,936	14,365	
	支 出					
	積立資産支出	600	360	▲ 240	360	
	退職給付引当資産支出	600	360	▲ 240	360	
	その他の活動支出計(8)	600	360	▲ 240	360	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	15,701	14,005	▲ 1,696	14,005	
	予備費支出(10)	0	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	▲ 1,225	0	1,225	0		
前期末支払資金残高(12)		1,225	0	▲ 1,225	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	0	